



移情閣だより

発行 移情閣(孫文記念館)友の会
編集 「移情閣だより」編集委員
発行日 2016年1月

No.111

孫文生誕150周年に寄せて

移情閣友の会 会長 林 同福

新年快樂！今年は孫文生誕150周年記念の年です。移情閣友の会は、孫文学検定に向けての勉強会を実施し、孫文学検定や台湾国父記念館との交流などを計画中です。また、11月26、27日神戸大学にて開催予定の(公財)孫中山記念会主催の「孫文とアジア太平洋-ネーションを越えて-」と題しての記念国際学術シンポジウムには、後援団体として皆様で盛り上げていきましょう。

移情閣友の会の活動は、中国語講座をはじめ、各同好会の活動や諸行事に皆様のご理解とご協力をいただき、取り組むことができましたこと心から感謝申し上げます。

2015年を振り返って、神戸関帝廟普渡勝会見学と精進料理を楽しむ会、移情閣祭りでは、初めて兵庫県立舞子公園秋の芸術祭・五館合同フェスティバルと同時開催することで、連携の強化につながったうえ、地域や神戸地区中国留学生学友会、KFC神戸秧歌隊中国帰国者の皆様とも交流

を深めることができました。

また、「孫文2015」では音楽と講演の会を主催し、陳来幸さんに「孫文時代の神戸華僑」について、講演いただきました。特別展「百年を振り返る孫文とシンガポール展」のため、来日したシンガポール孫文南洋記念館(晩晴園)ご一行様を孫文記念館職員と一緒に神戸孫文ゆかりの地にご案内したり、孫文を通じて海外の方々とも親交を深めることができました。

ここ日本で唯一の孫文記念館(移情閣)をより広く、親しんでいただけますよう、孫文記念館と地域や華僑との連携を一層強化し、友の会の活動をより活発にしていきたいと考えています。

このように、孫文の「世界大同」の思想を広げ、世界が平和になりますことを心から切に願っております。

本年もどうぞ一層のご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。

2016新春のつといのご案内

新年を迎え、より良い年になりますことを願い、皆様とともに祝う新春のつといを下記の通り開催いたします。ぜひ、お誘い合わせのうえ、ふるってご参加ください。心からお待ちしております。

企画運営委員長 後藤 みなみ

「中国食文化と中華料理」講演&講習

日時：2016年1月31日(日) 11:30~14:00

会場：天安閣7階(神戸駅北) 電話：078-341-0002

神戸市中央区多聞通3-3-1 神戸アークプラザビル

参加費：3,000円(食事代・乾杯分ドリンク付)当日集金



鮑悦初さん

<第一部> 講演&講習 11:30~12:00

演題：『中国の食文化と中華料理』

講師：鮑悦初さん(神戸華僑総会会長)

講習：「家でできる本格中華！」

講師：畑啓喜さん(天安閣料理長)

*持参するもの：筆記用具

<第二部> 親睦会 12:00~14:00

畑啓喜さん



<お問い合わせ&お申込み先> 移情閣友の会 後藤(090-8536-2913)

E-mail:ijoukakutomonokai@gmail.com FAX:078-785-3440

①参加者名②住所③電話④同好会名等明記の上、1月24日(日)迄にお申込みください。

なお、29日以降のキャンセルは後日参加費を徴収いたしますので、御了承ください。

<目次>

詳しくは随時ホームページでご覧になれます。 <http://tomonokai.ko-co.jp/>

会長新年のごあいさつ・新春のつとい2016ご案内 1 移情閣まつり2015&交流会 2 祭りに参加して中国留学生 3
孫文2015「音楽と講演の会」 3 友の会交流広場 4 中国文化同好会活動報告 5 台湾紀行・同好会案内 6

<行事報告>

移情閣まつり2015&交流会

10月10日(土)於 移情閣・庭園・舞子公園芝生広場



中国物産展・茶会・バザー



コーラス表演



二胡同好会演奏



太極拳同好会演武

今年は、舞子公園秋の芸術祭・5館合同フェスティバルと同時開催。10時からパネル展示・中国物産展・中国茶会・バザーでにぎわい、午後から館内でコーラス・二胡演奏・公開講座と中国語漫才「相声」。

また、孫文記念館西側特設舞台では、KFC神戸秧歌隊の秧歌踊、太極拳同好会の演武のほか、コーラスは聴衆者にも「空瓶マラカス」を配布して楽しく歌って頂きました。二胡同好会の演奏と二胡体験コーナーも大好評でした。総勢212名の参加がありました。



KFC神戸秧歌隊秧歌踊



橘 雄三さん講演

「貴州・湖南 苗(ミャオ)族の里を訪ねて」

中国語同好会幹事 橘 雄三

湖南省の西部、貴州省との省境近くの山間に、鳳凰という町のあることは以前から知っていて、その町の風情に惹かれ、ずっと、行ってみたいと思っていました。そういう私の背中を押したのは、この地出身の作家、沈從文(しんじゅうぶん)です。

神戸市外国語大学の津守陽先生の講演「少数民族と漢民族の血の間でー沈從文という作家ー」を聞き、初めて、『辺城』ほか数編を読みました。私は、作品に描かれた辺境の町の風物や人々の暮らしと沈從文の筆力に魅せられ、5月下旬、旅行に出かけました。

私は高齢の故、一人旅は不安で、貴州在住の友人に同行を頼みました。その友人の勧めもあって、貴州省の西江苗族村が行程に加わりました。凱里からバスで一時間半、西江千戸苗寨は最大の苗族集住地で、川を挟み、文字通り、千戸を超える家屋が山の斜面にへばりついています。ちょうど、祭の日で、とりどりの銀の飾りを身につけて踊る女性、大小の芦笙(芦の茎を管にした笙)を吹く男性など、苗族の風俗を垣間見ることができました。

そのあと、貴州省から列車で湖南省へ入り、バスに乗り換え、鳳凰を訪れました。この町については上述しましたので重複は避けます。

貴州省の苗族村も湖南省の鳳凰も観光地化されていた上、短い旅行で、苗族の人たちの生活・文化については、表面をなぞるだけに止まりましたが、それはそれで、楽しい旅行ができました。

このような発表の機会を与えてくださった友の会の皆さまに感謝いたします。

公開講座 「孔子の衣・食について」

論語と漢詩を学ぶ同好会代表 瀬田 慶太郎

論語に学ぶ「2500年前の孔子の衣・食について」と題してお話させていただきました。この間の科学技術の分野の進歩は目覚ましいものがあったのですが、思いやりの心とか、衣・食についてはどうだったのかを知ってもらいたかったです。はたして思い通りにいったかどうかは浅学短才の身としては、甚だ心もとないのですが、二・三の方から食事は現在とあまり変わらないのですねとか、昔は黒が吉事の色だったのですねとか聞かれましたので、少しはほっとしています。



相声(中国語漫才)



瀬田 慶太郎さん講演

神戸地区留学生さんと交流できました

二胡同好会 九野 早智子



祭り打ち上げ会

今年の移情閣まつりに於いて、神戸地区中国留学生学友会の若者にもブースを提供してご参加して頂いた。

初めの内は、なかなか会話することも出来ず、

互いに緊張していましたが、彼らが展示、販売されている美しい「切り絵」!「これはどのように使うものなんですか」と勇気をもって、質問すると、その場にいらした留学生4人の学生さんは親切に色々教えて下さいました。又、他の作品も紹介して下さい、それをきっかけに色々会話ができるようになり、これは年賀状に貼ってあげると受け取った人は喜ばれるとの事で、私も1組400円の切り絵を買いました。医学部に通う学生さんがおられることも判明し、り後の打ち上げ懇親会にお誘いすると、喜んで参加もしていただき、急に留学生の方々と親しくなれた感じで、楽しい出会いでした。

今後も、このような機会を作り、留学生の方々と交流深めることができれば、彼らの為にも私達の為にも大いに互いを理解しあえ、日中友好が口先だけの飾り文句でなく心から仲良くなれるのではと感じました。